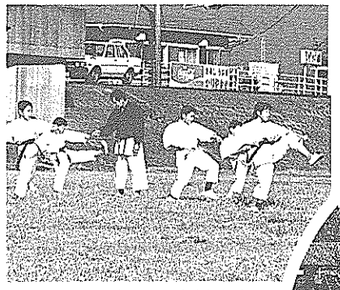
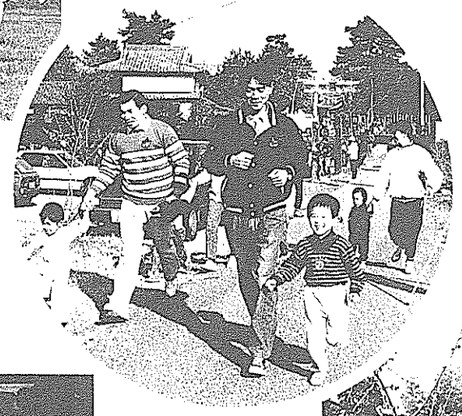
90新春 カメラリポート



「エイッ、ヤァ」かけ声も勇ましく元旦恒例空手道寒げいこ（物部川河川敷）



ババといっしょに走り初め（二日・前浜マラソン大会）

芳香を漂わせ蠟梅が開く（物部、吉本富雄さん宅）

元気いっぱい書き初め（四日・ライオンズクラブ書き初め大会）

手作りのログハウスに 子供たちの歓声

○長岡西部保育所○

長岡西部保育所（久米佐于子所長、百二十一人）の運動場に杉の丸太でできたログハウスが完成。一月十九日に園児がもち投げをして落成を祝いました。

これは、園児らに手作りの楽しさを地域老人との交流保育の中で教えようと計画されたもので、昨年十二月に準備。材料の杉は職員の家族が提供し、製作には地元のお年寄りが協力、園児も皮はぎを手伝うなど約一ヵ月がかりで作り上げたものです。

落成式のあと、園児らはさっそく屋根に登ったり、家の中に入ったりと大喜び。木のぬくもりをじゅうぶんに楽しんでいました。

落成祝い園児がもち投げ

空港再拡張のための事前調査地元説明会

残事業などに強い不満

高知空港再拡張を国へ要請するための事前調査地元説明会が、十二月二十七日に市役所で、県や地元の関係者約三十人が出席して開かれました。

会では、まず県側が、再拡張の必要性などを説明し、協力を要請。続いて質疑に移りましたが、地元関係者からは、前回の拡張時の残事業に対する不満などが次々に出されていました。

県は、今回の地元説明会で予備調査のための一通りの説明は終わったとして、年明けにも地権者らに個別に説明を行い、二月にも利水現況や水質、騒音など七項目の調査に入りたい考えです。

大人への門出を祝う

平成二年成人式

六百人が成人を迎える

成人の日の一月十五日、空港会館で平成二年成人式が行われ、〝大人〟への門出を祝いました。

今年成人を迎えるのは男性三百十二人、女性二百八十五人の合わせて五百九十七人。

会場は晴れ着や背広で着飾った新成人たちで埋まり、華やかな雰囲気の中で開会。まほろば囃子の演奏や映画『南国市』の上映で気分が和んだ後式典に移りました。

式典では小笠原市長が「精神的な美しさを求める心を持って歩んでほしい」と祝辞を述べ、新成人代表の岩原弘憲さんと高島博子さんに記念品が手渡されました。

続いて、川田真嗣さんが「近づく二十一世紀を平和で幸せな世界とするため、先輩方とともに、心新たにそれぞれの分野において精進していくことを誓います」と二十歳の決意を述べました。

また、会場前では連合青年団が紅白のもちをつき、式典を盛り上げました。

新成人代表が二十歳の決意を述べる

紀貫之をしのび

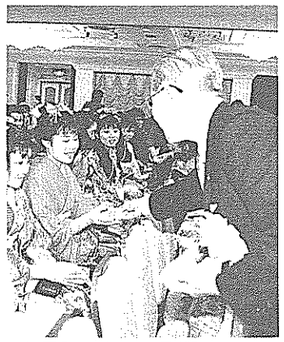
第6回 土佐日記門出のまつり

一千五十余年の昔、紀貫之が記した〝土佐日記〟の門出の日をしのぶ『第六回土佐日記門出のまつり』が一月十七日、比江の紀氏邸跡で催されました。

これは、国府の史跡を広く紹介するために、国府地区史跡保存会（乾常美会長）が主催して毎年旧暦十二月二十一日に行っているものです。

この日は天気にも恵まれ、地元の皆さんや国府小の児童ら約百人が出席。永源寺と国分寺の住職による読経の後、土佐まほろば囃子振興会の皆さんがみやびやかに「土佐日記船出の章」という曲を奉納。続いて昨年秋に建立された歌碑に、出席者一人一人が菊の花を供え、貫之の遺徳をしのびました。

この後、国府地区公民館に会場を移し、出席者は酒を酌み交わしながら、はるか昔の王朝時代に思いをはせていました。



市長らがもちを手渡す

出席者による献花

第二回南国市俳句大会

市長賞に橋本さんと美崎さん

土佐のまほろば南国市に親しんでもらおうと、今年も一月二十一日に大篠地区公民館で俳句大会が開かれました。

これは、昨年から中央公民館の主催で開かれているもので、二回目の今年は六十四人が二百三十五句を投句。大会では句の互選や高知市民図書館の橋田憲明館長の講演が行われました。

入賞作品は次のとおりです。

○南国市長賞

冬瓜が亡父の枕のようにある　橋本純子（下野田）

山茶花のおのずから散り風に散り　美崎明（植野）

○南国市議会議長賞

妻逝きて寒林に来る哭くために　和泉えい子（国分）

○南国市教育長賞

母に合わす歩幅寺町萩の町　中村竹子（後免町）

○県俳句連盟会長賞

蠟梅や智恵子の逝きし空のあり　植田紀子（高知市）

寒夕焼沖に切絵の船いくつ　溝渕由紀男（土佐山田町）

靴磨くことの遠のき冬木の芽　小松里（野市町）

○入選＝九句